

平成27年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業

いわて文化支援ネットワーク通信

アシスト・なう

13号

発行日
平成27年9月15日

発行:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター / 印刷:杜陵高速印刷株式会社

「二戸地域・宮古地域 子どもたちの合同演劇ワークショップ」
in ふれあいランド岩泉 報告
平成27年8月6日(木)～8日(土)



8月6日(木)から8日(土)までの3日間、子どもたちの文化交流事業「二戸地域・宮古地域の子どもの合同演劇ワークショップ」を開催しました。東日本大震災後、いわて文化支援ネットワークの活動を通して私達が実感した事は、地域間のネットワーク作りの重要性でした。都市部で活動する子ども達に比べ、他地域との交流の機会が少ない沿岸部や山間部の子ども達。遠く離れた地域の子とも達同士が文化芸術活動を通して交流を図り絆を深め、表現活動への関心を高めるきっかけとなるよう本事業を行いました。

この度の子ども演劇ワークショップは、岩泉町で2泊3日の合宿をしながら約14時間の演劇ワークショップを通して短編の作品を創り上げ、最後にミニステージで発表するという内容で、二戸・宮古・岩泉地域から小学3年生から中学1年生までの11名(男子1名、女子10名)が参加しました。参加者は、普段から劇団で活動している子、昨年度の宮古市民文化会館における子ども音楽劇づくりに参加した子、演劇に興味はあるけれど初めて体験する子、と様々です。

講師は、東京からお招きした日本演

出者協会理事の小林七緒さん。いわてアートサポートセンターが主催する「いわて演劇塾」の講師としてこれまで何度も来ていただいている演出家です。

合宿1日目。30度を越える猛暑の中、二戸の子ども達7名、宮古・岩泉の子ども達4名がふれあいランド岩泉に到着し、11名の参加者が揃いました。

「難しい学校の様に思わずに、みんなで楽しく面白いものを作りましょう」と講師の七緒さんからの言葉があり、自分が決めたニックネームを



胸に貼るところからワークショップがはじまりました。この合宿中は大人のスタップも子ども達も、皆そのニックネームで呼び合います。初対面で緊張気味だった子ども達もお互いの名前を覚えるゲームをしているうちにリラックスした雰囲気になり、自然に大きい声で名前を呼び合えるようになっていました。

合宿2日目。9時から5時まで、お昼を挟んで一日ワークショップです。午前は涼しいうちに外へ出てゲームをしながら広い芝生の上を走り回りました。自然に溢れた広い施設でありながら連日の酷暑のため屋内での活動にならざるを得なかったところ、この時だけ唯一、屋外の緑のなかでのびのびと活動できた時間でした。

陸前高田「うごく七夕まつり」太鼓等寄贈式に出席して



寄贈式の様子

陸前高田市高田町の「うごく七夕まつり」は、江戸時代から続く歴史ある夏祭りです。東日本大震災により、山車や楽器などが津波で流され、甚大な被害を受けました。また、津波により家を失った人々が転居を余儀なくされたために、地域の人間関係の繋がりに多大なる影響が出ました。地域の方々の努力と周囲からの支援により、2011年に祭りが復活。地域の方々にとってこの祭りは、離れ離れになってしまった地域の人間関係を繋ぐ、大切なものとなっています。

今年度、いわて文化支援ネットワークは「うごく七夕まつり」で使われる楽器の修繕・新規購入について

色とりどりに装飾された山車が賑やかなお囃子とともに町を練り歩く「うごく七夕まつり」は、地域の人々との繋がりを再確認する祭りでもあります。震災で2000人以上の犠牲者が出た陸前高田市の人々にとって、この「うごく七夕まつり」を今後も継続実施することが、変わらぬ慰霊の心をつなげ、復興への誓いの気持ちを新たにすることが繋がっていくのだらうと感じました。

(報告・小笠原尚子)

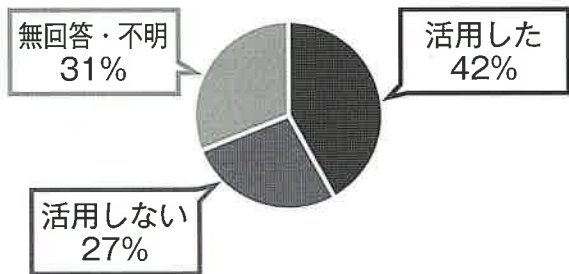
寄贈式会場である川原組の山車作成場では、老若男女を問わずたくさんの方々が山車の作成と飾りつけに参加していました。この日は曇り空で、汗が噴き出すような陽気でしたが、そんな中でも誰ひとり辛そうな顔を見せず、皆はつらつとした笑顔で作業に参加していたのが非常に印象的でした。

寄贈式には、支援元である真如苑の方々や川原組の代表の皆様が参列。今回寄贈された太鼓や笛などの楽器を前に、川原組代表の方から御礼状が読み上げられました。

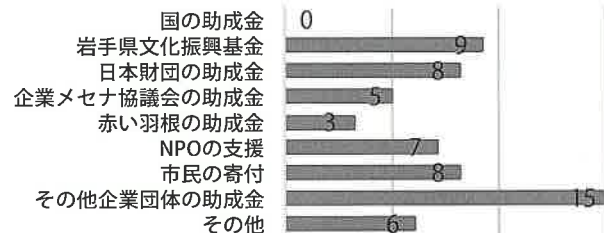
東日本大震災後の祭り芸能の復活と今後について

(特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター平成26年11月調査から)

●祭り芸能の復活と助成金活用について尋ねました。



<活用した助成金の種類>



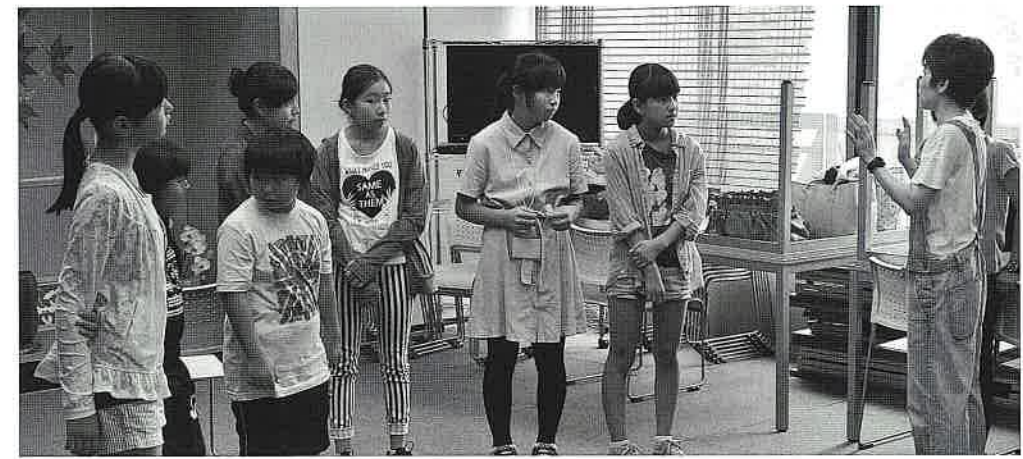
<助成金は何に活用しましたか？>



<祭り芸能についての自由筆記から> 今後、必要とされるものはマンパワーであることは言うまでもないが、絶対人数が減少の中では規模の適正化や準備に係る住民同士の盛り上げ等、工夫を凝らして継承していかなければならない。今までの口伝や記憶だけに頼るのではなく、積極的にデータ化して残していくことも重要と思う。

研修室に戻り、作品作りが始まりました。数人のグループに分かれた子ども達は「洞窟」というテーマを与えられ、子ども達だけでストーリーを作っていきます。自分かどんな人物で、お互いがどんな関係か、相手とどういふ会話をするか。一晩を共に過ごした子ども達の距離はぐっと近くなつたようで、様々なアイデアが自由に飛び交います。七緒さんから次々と出される課題に子ども達が柔軟な発想で応えていき、七緒さんは子ども達の意思を尊重しながら、的確でわかりやすいアドバイスを与えます。午後のワークショップを終える頃には、子ども達に疲労の色が見えましたが、物語の中で一人一人が自然に生き生きと動けるようになっていました。

合宿3日目。七緒さんの構成によりグループ毎に作ったそれぞれのストーリーが繋げられ一つの作品へと仕上がっていきます。午後はいよいよ岩泉町「てこの蔵」にて発表会です。「てこの蔵」は昔ながらの手仕事をする職人が集い活動する場所として、築150年の酒蔵を改築しオープンした工房です。古い蔵のつくりは今回のテーマとなった「洞窟」を表現するにはぴったりの雰囲気がありました。ぎりぎりまで最後の練習と調整を行い、発表の時間がやってきました。発表会の会場は子ども達の親御さんや岩泉町のまちの方々が来場くださり満席です。岩泉の龍泉洞を舞台に、立ち入り禁止区域に入り込んだ3つのグループが出会い、洞窟を抜け出すまでの物語。およそ20分ほどの作品発表が終わり、会場いっぱい拍手の中、子ども達の顔は充実感で



溢れていました。この3日間、子ども達が驚くべき集中力と想像力を発揮し新しい仲間と共に作品作りに取り組んだ経験は、心に深く刻み込まれたと思います。

参加した子ども達全員が「また参加したい」「もっと長い期間でやりたい」と意欲的に答えてくれました。

(報告・菊池摩美)

参加した子ども達の声



あるセリフを言うのじゃなく、みんな考えてるのが楽しかった(岩泉、小4)

またこのようなワークショップをやって欲しいです。めっちゃたのしかったですからまた来たいです。みんなとなおさんとできて良かったです！(二戸、小6)

今回のような宿泊しながら、演劇をするのは初めてで不安だったけれど、楽しくて良かったです。なおさん、3日間ありがとうございました。ぜひまた来て欲しいです。(宮古、小6)



友達もたくさんできたし、一回目のワークショップでは自分とはちがう見方している人がたくさんいて、こういう見方もあるんだとか、気づかされたことがたくさんありました。(二戸、小6)

最初はみんなとなかよくできる心配だったけど、ゲームをとおしてなかよくできたり、2人ぐみをおしていろいろとえんぎのことを学べてうれしかったです。(二戸、小3)

もっとやりたい！ あっという間だった。七緒さん、機会があったらまた演劇のことをくわしく教えてくださーい！もっともっとやりたい！(二戸、小6)

ニューヨークの風 邦楽コンサート

岩手国体協賛事業「いわてアートプロジェクト2016」参加アーティストによる邦楽コンサート。



ラルフ・サミュエルソン(尺八)



エリザベス・ブラウン(尺八)



峯岸一水(一弦琴)

2015年10月11日(日) 14:00~15:00

もりおか町家物語館 浜藤ホール(盛岡市鉾屋町)

入場料 500円(収益は、東日本大震災被災地への文化支援活動に寄付します)

主催:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター、盛岡市 共催:「いわてアートプロジェクト2016」実行委員会

問合せ:もりおか町家物語館 TEL:019-654-2911

**“わ”で奏でる
東日本応援コンサート2015 in 宮古**

2015.10.12(月・祝) 宮古市民文化会館 大ホール
開場-14:15 開演-15:00 チケット:一般1,000円 高校生以下無料(要入場整理券)
出演:前田憲男 / 山口マリー / くるみee ゲスト:渡辺真知子
地元出演者:千徳小学校合唱委員会・スクールバンド委員会 / 磯鶏小学校合唱部 / 宮古小学校合唱団・プラスバンドクラブ / 宮古市内高校生有志プラスバンド / 【ドラム】柿崎幸史 / 【ベース】島山芳幸

◆会場・お問合せ:宮古市民文化会館 ☎0193-63-2511 <岩手県宮古市磯鶏沖2-22>

“わ”で奏でる 東日本応援コンサート 2015 in 宮古

支援活動の「輪」、被災者と支援者で手を取り合う「輪」、将来への希望や思いをつなぐ「輪」、一丸となって復興に取り組む調和の「和」、元気な日本の「和」。“わ”で奏でるコンサートです。

2015年10月12日(月・祝) 15:00 開演
宮古市民文化会館 大ホール(宮古市磯鶏沖)

出演:前田憲男、山口マリー、くるみee
ゲスト:渡辺真知子

地元出演者:千徳小学校合唱委員会・スクールバンド委員会 / 磯鶏小学校合唱部 / 宮古小学校合唱団・プラスバンドクラブ / 宮古市内高校生有志プラスバンド / 【ドラム】柿崎幸史 / 【ベース】島山芳幸

入場料:一般1,000円 / 高校生以下 無料(要入場整理券)
問合せ:宮古市民文化会館 TEL 0193-63-2511

いわて文化支援ネットワーク
〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-20永卯ビル3F
NPO法人いわてアートサポートセンター内
☎019-604-9020 FAX:019-604-9021
E-mail:kaze@iwate-arts.jp
http://ibsn.web.fc2.com/

●支援金振込先(振り込み手数料は負担願います) にご支援、ご協力
ありかとうございます
■みずほ銀行 盛岡支店(普) 1190698
■ゆうちょ銀行 店名【八三八】(普) 0808732
※いずれも口座名:いわて文化支援ネットワーク
■岩手銀行 中ノ橋支店(普) 2044173
口座名:いわてアートサポートセンター文化支援 代表 坂田裕一
現在の支援金総額 **10,113,922円** (平成27年9月8日現在)